



芝山小だより

1月号増刊号

清瀬市立芝山小学校

校長 佐藤 強

<http://www.kiyose.ed.jp/>

5年生 新年の一句 年末年始を思い浮かべて

年明けて いっぱもらえる お年玉

スキー場 シロップかけて 食べたいな

青森で 魚を食べて 年越しだ

恵方巻 幸せ願って もぐもぐと

元旦に 届くの楽しみ 年賀状

冬休み 年末追われ 大そうじ

お正月 ポスト開けたら 年賀状

年男 今年は何か ありそうだ

野原もね わたぼうしかぶり 冬げしき

おぞうには 新年初のご飯だよ

夕やけの 空にちらちら 雪おどる

お年玉 リッチな気分 預金する

お正月 毎日おもち おいしいな

はつもうで はじめて絵馬に ねがい事

帰ったら いそいでこたつに 入りこむ

おみくじで 小吉だった はつもうで

お正月 もらってうれしい お年玉

お年玉 チャリチャリチャリと うれしいな

大みそか 年をこすまで ねむれない

白うさぎ 雪にまみれて かくれんぼ

冬の朝 白樺高原 銀世界

大みそか 家族そろって カウントダウン

1年生:生活科「昔あそび」でけん玉にチャレンジ。1月14日にはJET 青年のジュリアさんに1年生が教え、23日の公開日の公開日には、日本けん玉協会の講師鈴木康之先生にコツを教えてもらいました。



屋根下に つららの鉄琴 かなでるよ
朝のしも 雲の下から かげのした
おせち食べ 祖母の気持ち 伝わるよ
冬休み 寒さに負けて ゴロゴロと
お正月 毎日おもち あったかい
お年玉 年に一回 お金持ち
冬の朝 あまりに寒く 丸くなる
チラチラと 小さな雪が 舞いおちる
夜おきて 雪がキラキラ 光りだす
車窓見て 頭にうかぶ 祖母の顔



<武田双雲先生の講演会を聞いて（高学年）>

○私は、書道で三段をもっています。習字リレーでは、「心」の二画目を書きました。双雲先生のお話を聞いて、「心」の二画目は、一番責任のある字だと改めて思いました。

書道では、今「夢の実現」という字を書いています。私の将来の夢の一つは、書道の先生になることです。双雲先生のような書道の先生になることを実現したいです。双雲先生のお話を聞いたことは、人生で一番貴重な経験となりました。（5年1組 女兒）

○私は、芝山小学校に武田双雲先生が来て、いろいろな話をしてくれたことが楽しかったです。いろいろな話をしてくれた中で一番心に残ったのは、「勉強することや朝起きることを楽しんでやる。」という話です。私は、勉強を楽しんでやるということが、あまり得意ではないので、双雲先生が言ったように楽しんでできるようにしていきたいです。（5年1組 女兒）

○この間は、私たちにお話をしてくださり、ありがとうございました。どれも面白くて、夢中で聞いていました。その中でも、一人一人の「た」の書き方がちがうということが一番心に残りました。私は、自分が思っていることと他人が思っていることがちがっていても自分は自分でいいんだなと思いました。

他にも、物事を楽しんでいくことが大切ということも心に残りました。つまらないように生きていくのと楽しいように生きていくのは、やっぱり全然違うんだなと改めて感じました。「た」の物語もとても面白かったです。そして、3歳の時から楽しみながら習字をやっていて、すごいと思いました。たくさん心に残ったことがあります。本当にありがとうございました。（6年1組 女兒）